

| | | |
|-------------|---|----|
| グラビア | 地域を支える人 大内智弘さん・茨城県東海村社会福祉協議会 | 1 |
| 発掘！地域の希望のタネ | 鳥取県鳥取市〈ピンク華麗 華貴婦人〉 | 5 |
| 給食のじかん | 〈紅イモアガラサー〉沖縄県読谷村 比嘉健太 | 6 |
| 特集解題 | 貧困問題の現在 | 8 |
| 焦点 | 主要農作物種子法の廃止を考える —食料主権軽視と農業競争力強化志向の問題— 西川芳昭 | 10 |

特集

貧困問題の現在

| | | |
|--------------|---|----|
| | 広がる貧困問題と重要になる自治体の役割 —貧困の世代間連鎖と生活困窮者自立支援制度を中心として— 駒村康平 | 16 |
| | 地方における母子世帯の暮らしと生活保護 —自動車の保有・使用の視点から— 藤原千沙 | 24 |
| 座談会 | 小田原市ジャンパー問題を考える —『生活保護行政のあり方検討会報告書』を受けて— 門崎正樹+古林明郎+伊原尚子+白井 亨+井手英策 | 36 |
| | 人の生き方を支える 生活困窮者支援と全国ネットワーク 榎部武俊 | 48 |
| 書評 | 相模原・障害者施設殺傷事件 菅原敏夫 | 53 |
| 各県自治研活動レポート | 研究成果を自治体と市民の「協働」へ —自治労新潟県本部— 貝瀬淳一 | 54 |
| チャレンジサポート | まちあるき with ALTの開催 —SANUKI City Map for Foreign Individual Traveler (その3)— 湯川致光 | 56 |
| 連載 地域で支える | 支え合いで地域活性化、地域づくり 広島県福山市の取り組み◎加藤啓介+細井隆司+長田芳文 コメント 福山市老人大学から学ぶもの◎井上信宏 | 58 |
| 連載 | 『月刊自治研』を読む〈第二季〉④自治研改革 篠田 徹 | 65 |
| | 自治研センターの機関誌案内 | 71 |
| | 次号予告・編集部から | 72 |

世代間連鎖する貧困

広がる貧困問題のなかでも、世代間連鎖はとりわけ深刻です。生活困窮者自立支援制度など必要な制度のあり方について考えます。
(本誌一六頁)

貧困問題の現在

子どもや若者など、広い範囲に貧困問題が広がっています。その現状を見つめながら、自治体になにができるかを考えます。

ジニ係数と親子間の所得の相関性

| 国 | ジニ係数 (x) | 世代間の所得弾性値 (y) |
|----------|----------|---------------|
| スウェーデン | 0.20 | 0.28 |
| フィンランド | 0.21 | 0.18 |
| デンマーク | 0.22 | 0.18 |
| ノルウェー | 0.23 | 0.18 |
| ドイツ | 0.24 | 0.32 |
| フランス | 0.26 | 0.42 |
| イギリス | 0.28 | 0.52 |
| ニュージーランド | 0.29 | 0.28 |
| 日本 | 0.30 | 0.35 |
| アメリカ | 0.35 | 0.48 |

地方の母子世帯の生活保護

母子家庭の貧困率の高さが注目を集めています。都市部とそれ以外との間で生活保護率に差が現れています。そこに自動車の保有という問題が密接に関わっています。
(本誌二四頁)

座談会 小田原市ジャンパー問題を考える

二〇一七年初頭に明らかになった神奈川県小田原市のジャンパー問題。全国のケースワーカーのみならずにお集まりいただき、生活保護の現場をふまえながら、この問題について考えます。
(本誌三六頁)

生活困窮者支援の全国ネット

年に一度の「全国研究交流大会」などを開催し、NPOや行政関係者など生活困窮にある方々の支援を担う人材のネットワークづくりを進める活動についてレポート。
(本誌四八頁)